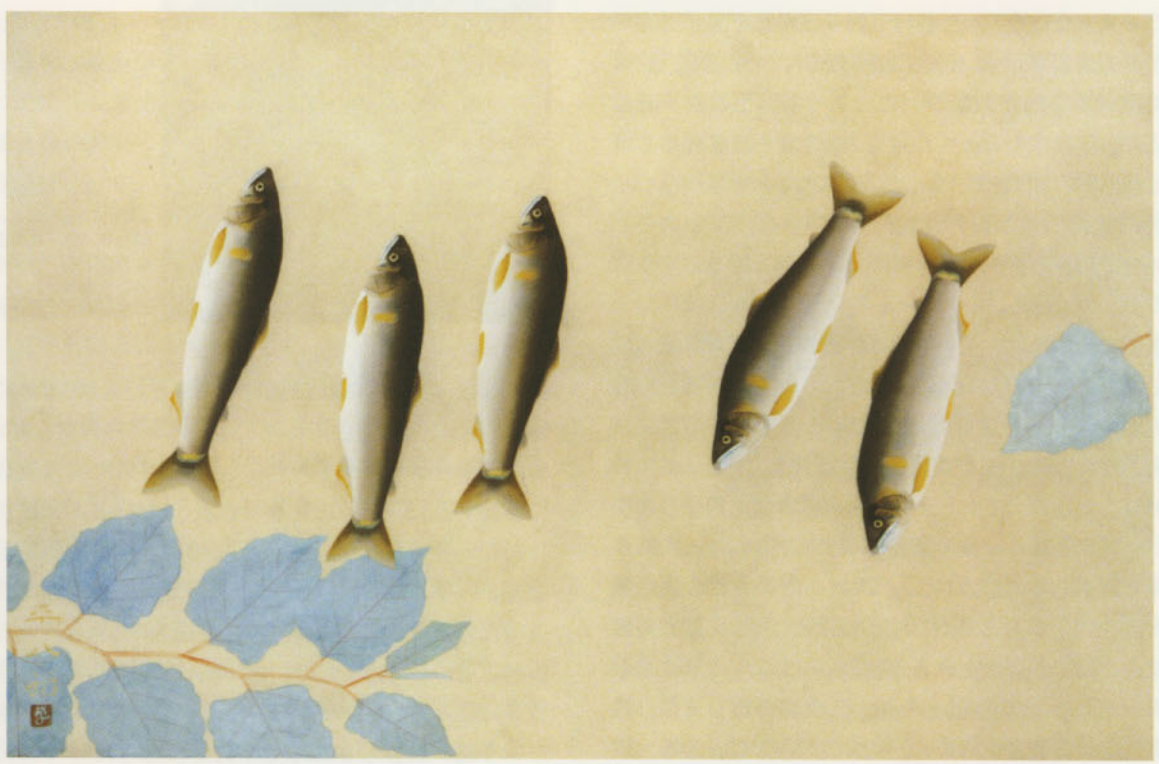




# 京都国立近代美術館 友の会会報

2007  
SPRING  
第13号



福田平八郎 鮎 昭和25年(1950)

展覧会の

見どころ

## 福田平八郎展

4月24日[火]—6月3日[日]

休館:毎月曜日(ただし、4月30日は開館)

夜間開館(入場は午後7:30まで。閉館午後8:00)

久しぶりの大規模な回顧展である。福田平八郎は戦前の昭和7(1932)年、第13回帝展に出品した〈漣〉や、戦後の昭和28(1953)年、第9回日展に出品した〈雨〉によって、その斬新な、前衛的とも見える表現が注目され、昭和中期から後期にかけての日本画を代表する花鳥画家の一人となった。明治43(1910)年、画家を志して大分県から上洛して以来、生涯京都を離れず、特に戦後は、京都画壇の中心的な画家の一人として活躍したが、昭和49(1974)年に亡くなってからも、遺作展や回顧展がしばしば催され、今日まで、多くの人に愛されつづけている。今回の展示は作品だけではなく、写生や素描、下図などを併せて紹介し、平八郎芸術の全貌を浮き彫りにしようとするものである。

京都の日本画は、江戸中期以降の円山派、四条派の流れを汲んで、その派の画家が形成していった画塾を中心に明治の変革期を迎えた。そのため、幕府の御用によって栄えた狩野派が明治維新とともに衰え、フェノロサや岡倉天心の指導の下に、全く新しい日本画を創造しようとした東京とは、かなり事情を異にしている。竹内栖鳳ら青年画家たちの努力によって、塾中心の京都の画壇も徐々に近代化が進んだが、明治40(1907)年、文部省美術展覧会(文展)が開設されると、彼我の改革への意欲の差は明らかとなった。危機感を抱いた京都の画界では、絵画専門学校の開設を急いだ。そして、明治42(1909)、京都市立絵画専門学校(絵専)が開校され、以後、京都で日本画を志す者は、多くがここに通うようになった。大正4(1915)年に同校に入学した平八郎もその例で、彼ら学校教育によって画技を修得した者は、後に「学校派」と呼ばれるようになる。実際には、塾の主宰者がそのまま絵専の先生という図式ではあったが、塾のしがらみを受けないことは、大きかったに相違ないだろう。彼は大正13(1924)年、絵専の教師となるまで、画壇という世界すらほとんど知らずに、画道三昧の日々を送ってきたのであった。

昭和5(1930)年、すでに帝展の中堅画家となっていた



福田平八郎 花菖蒲  
昭和9(1934)年  
第15回帝展  
京都国立近代美術館蔵

平八郎は、中村岳陵、山口蓬春ら東京派の画家、それに牧野虎雄、木村荘八、中川紀元ら油彩画家、外狩素心庵、横川毅一郎らジャーナリストらと、結成された〈六潮会〉に参加する。この会は、京都の画壇とは、ほとんど接点を持たない会であった。しかし、この会での油彩画家との交友が、平八郎の世界を一気に広げていった。絵専の学生時代、美学・美術史の教授中井宗太郎から「自然を客観的に見つめてゆくのが、君に向いている」と言われた言葉に従って、写生に打ち込んできた平八郎は、日本画という狭い世界しか知らない自分にあらためて気付かされたのであった。

戦後の福田平八郎の芸術は、〈雨〉(昭和28年・第9回日展)や〈水〉(昭和33年・第14回日展)などに象徴されるが、ここに通底しているものは、やはり徹底した観察・写生であり、同時に、自らを信じて追求し続けた感覚的な造形世界である。これらが交響曲を奏でる平八郎の芸術は、まことに得難いものと言わざるを得ない。(加藤類子)

## 故宮博物院を訪ねて

台湾の故宮博物院では、長らく大規模な改修が行われていましたが、昨年（2006年）十二月二十五日に本館がリニューアル・オープンを迎えました。リニューアル後の展覧会第一弾は、創立80周年記念展として行われた「大観—北宋書画、汝窯、宋版図書特展」です。この展覧会の前期・後期の出品作品を同時に見るための研修旅行として、展示替えのある二月七日をはさみ、来賓として招かれた岩城館長の他、外嶋庶務課長、牧口研究員、中尾の計四名で故宮博物院を訪問しました。二月八日には完全にリニューアルを終え、同日の記念式典には内外の関係者が招待され、特別鑑賞会の後、台湾の先住民の歌や、武術と音楽の融合した大太鼓の演奏など、台湾の歴史を音楽で辿ることのできる盛大なイベントが行われました。式典には陳水扁総統も出席され、今回のリニューアルが国家をあげたものだったことを改めて感じさせられました。

さて、この展覧会の目玉は何と云っても北宋時代の名品である范寛〈溪山行旅図〉、郭熙〈早春図〉、李唐〈万壑松風図〉の三幅を一度に観られたことでしょう。通常は、一度展示された作品は、保存のために二年間は出品されず、これらが同時に展示されることはないといいます。見学した日が三幅の展示される最終日にあたっていたため、人混みに流されながら鑑賞しましたが、巨大なケースにこれらの作品が並んでいるのは本当に壮観で、圧倒されるような力強い作品でした。

また、汝窯の特集展示もすばらしいものでした。汝窯は宮廷用に用いられる青磁を焼く窯として知られ、その美しい色合いと世界でも七十点ほどしか存在しない希少性から幻と呼ばれてきました。なんと故宮博物院には、そのうちの二十一点が所蔵されており、今回の展覧会にはその二十一点すべてが展示されていたのです。薄暗く細長い部屋の中央に全面ガラス張りのケースが



2007年2月、故宮博物館にて(写真・右端 国立故宮博物院 林曼麗院長、右から2人目 当館岩城館長)

置かれ、その中に汝窯の名品の数々が整然と並び、見せ方も非常に工夫されていました。同じ汝窯の作品ばかりが並んではいますが、緑がかったものや、少し白いものまで色合いに幅があり、また、器の形状や模様表現も変化に富んでいて、どれだけ見ても飽きない魅力を持っています。大観というだけあって、国宝級の作品が次から次へと並び、今回の訪問ではとてもすべての作品を見ることができないほどの内容の濃い展覧会でした。

二月四日からは、リニューアル記念展の第二弾として、大英博物館との協力により、「大英博物館250年収蔵展」も開催され、台湾にいながらにして故宮博物院と大英博物館の両方を愉しめる機会となっています。また、ミュージアム・ショップやカフェなど、来館者を増やすための施設の充実や、コンサート、舞台など、展覧会に合わせたイベントの実施、将来を見据えて、今後観賞者となってゆくであろう学童向けの、教育普及活動への取り組みの強化など、美術館員として、美術館の在り方についても、学ぶところが多くありました。また、故宮博物院は約65万点もの作品を収蔵していますが、あまりの作品数の多さに、普段日の目を見ることがない作品も少なくありません。そこで、収蔵品を有効に活用し、また単に歴代皇帝のコレクションというだけでなく、より幅広い視点で作品を紹介する場として、故宮南院（アジア芸術博物院）も建設中で、今後ますます楽しめる博物館になっていくことでしょう。

(当館研究員・中尾優衣)

## 友の会春のバス・ツアーご案内

友の会では、毎年春秋の2回、日帰りのバス・ツアーを企画し、美術館・博物館で開催される美術展、工芸作家の現場や産地、古社寺の文化財などを見学しています。今回は**富本憲吉記念館**、**慈光院庭園**、**松柏美術館**と、初夏の奈良市近郊を訪ねます。富本憲吉記念館は、昨年当館で回顧展を開催した陶芸家、富本憲吉の生家を美術館としたもの。展示品や作品もさることながら、生家を取り巻く旧安堵村、大和川平野の眺めが、憲吉の初期の作品を彷彿させます。慈光院は戦国武将片桐且元の甥、片桐石州の創建した大徳寺派の禅寺。茨木の旧館から移築した門をはじめ、茶室、大和平野を眺める美しい庭が有名です。昼食もここで、やや贅沢な精進料理を予定しています。松柏美術館は奈良市登美ヶ丘の閑静な住宅地の中、近畿日本鉄道(近鉄)の佐伯会長の旧宅の庭に、平成6年に開館しました。上村松園、松篁、淳之三代にわたる作品や資料を展示しますが、そのコンパクトな美術館を囲む庭が、花や樹木豊かです。

日 時：5月20日(日)(雨天決行します)  
 行 程：京都・近代美術館前(9:00 出発) — 富本憲吉記念館(大和郡山市安堵) — 慈光院(大和郡山市)・昼食 — 松柏美術館(奈良市登美ヶ丘) — 近代美術館前(17:30~18:00 頃)  
 会 費：一人8,000円(昼食費観覧料込み)  
 募集人数：30名(会員以外の同伴は可能ですが、3人以上のグループの場合は、当館友の会係まで、前もってご相談ください。5月10日(木)までに当館受付にてお申し込みいただく申込者・同伴者の住所・氏名・連絡手段等をご記入の上、郵送又はFAXしていただき、料金を現金書留あるいは下記口座にお振り込み下さい。

FAX：075-752-0509 京都国立近代美術館友の会事務局  
 郵便振替口座：00940-7-189550 京都国立近代美術館友の会

## 友の会の催し

### ワークショップのお知らせ

日本画家福田平八郎展を記念して、京都表装協会の皆様のご協力で、福田平八郎作〈漣〉の制作の行程を、解りやすく解説、実演していただきます。

日時：5月27日(日)午後二時から  
 会場：当館1階講演室  
 入場：無料(60名まで)  
 (午前11時から整理券を発行します)

曲目：未定ですが、金管十重奏を  
 期待

第2回 オータム・ナイト・コンサート  
 日時：平成19年11月17日(土)  
 午後6時開演  
 会場：当館1階ロビー  
 曲目：未定ですが、弦楽の予定。

### 本年の友の会コンサート

例年通り、京都市立芸術大学音楽学部との共催で、コンサートを開きます。

第1回 サマー・ナイト・コンサート  
 日時：平成19年6月2日(土)  
 午後6時開演  
 会場：当館1階ロビー

第3回 クリスマス・コンサート  
 日時：平成19年12月22日(土)  
 午後6時開演  
 会場：当館1階ロビー  
 曲目：未定ですが、管・打楽器が中心となる予定。

- 開館時間  
午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
  - 夜間開館  
4月15日(金)~9月2日(金)までの企画展開催中の全曜日  
午前9時30分~午後8時まで(入館は午後7時30分まで)
  - 休館日  
毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は、翌日が休館)、及び年末年始(開館時間、休館日は臨時に変更する場合があります)
- ※お車で越しの場合 岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

### ● 交通案内



独立行政法人国立美術館

## 京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
 TEL. 075-761-4111

テレフォンサービス 075-761-9900  
 ホームページ <http://www.momak.go.jp>